

平成28年10月20日

都市計画道路を考える小金井市民の会 共同代表

川島 昭彦 様

春原 真子 様

金山 乃婦子 様

今中 京平 様

小金井市長

西岡 真一郎



### 文書に対する回答について

平素は、市政にご理解・ご協力をいただきまして、大変ありがとうございます。

標記の平成28年9月13日にご提出いただいた文書に対しまして、下記のとおり回答いたします。

### 記

#### 質問1

東京都は8月10日の回答で、都市計画決定の経緯を「小金井3・4・1号線、小金井3・4・11号線外の都市計画決定については、旧都市計画法時代の昭和37年に当初決定しています。これらの決定にあたっては、当時の法に基づき、地元の状況を把握している都議や関係市長、市議などが参加する都市計画地方審議会の議を経るなど、地元の意向を反映して適切に定めています。」と指摘しています。ただ、我々の関係住民（とりわけ当該地域に長年居住している住民）は、当時、地元の意向を反映してこの決定がなされたとの認識はなく、資料（記録等）も見ることがないとのこと。

上記について、市として独自の調査を行い、東京都の指摘する事実があったかどうか、また、その実態が単なる形式だけのものではなく本当に地元（住民）の意向を反映するにふさわしいものであったかどうか記録資料に基づいた回答を求めます。同時に、関連資料の提出を求めます。

#### 回答1

昭和37年の当該都市計画道路の決定にあたっては、当時の小金井市都市計画審議会条例（昭和32年条例第13号）に基づき設置された市の都市計画審議会に3回にわたり諮っていたことを確認いたしました。議事録は現存しておりませんが、当時の審議会の委員構成は、市長（審議会会長）、市議会議員9名、学識経験を有する者2名、市助役、市職員2名の計15名であり、審議会には市民の代表である市議会議員が参加することになっておりました。

一方、都の都市計画地方審議会においては、市長及び市議会議員4名が出席していたことを確

認いたしました。

なお、市が保存する資料の開示につきましては、小金井市情報公開条例に基づく手続きを経る必要がございますので、都市計画課の担当者までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

また、東京都が保存する資料の開示につきましては、東京都情報公開条例に基づく手続きを経る必要がございますので、東京都に対し開示に係る所定のお手続きをしていただきますよう、お願いいたします。

## 質問 2

市長はその政治姿勢として「市民との対話、市民参加の重視」を掲げられています。多くの小金井市民は、50数年前の計画をいきなり持ち出してきて、「決まっていたことだから進めるのだ」とする東京都の態度には大きな不信感を懐いています。市長の掲げられた上記の姿勢（民主主義の原則）とも全く相いれないものと言わざるをえません。市長がその点をどのように考えておられるかをお答えください。

## 回答 2

都市計画道路は、長期的視点で都市計画決定しており、鋭意その整備に取り組んでいるものの、その事業量は非常に多く、整備に膨大な時間を要します。そのため、都市計画道路を計画的、効率的に整備する必要があることから、東京都と特別区及び26市2町は共に連携しながらおおむね10年間で優先的に整備すべき路線を定めた「事業化計画」を過去3回にわたり策定し、順次、継続して事業の推進に努めてまいりました。

この度策定した第四次事業化計画では、今後10年間（平成28年度から平成37年度）で優先的に整備すべき路線として、将来都市計画道路ネットワークの検証を行い、その必要性を確認した上で優先整備路線を決定しております。

また、本市の優先整備路線である小金井都市計画道路3・4・1号線及び3・4・11号線につきましては、パブリックコメントで非常に多くの意見を頂戴するとともに、市民の皆様から、面会、メール、手紙等を通じて、自然環境や景観を守りたいというご意見も、多数頂戴しているところです。これを受け、平成28年3月22日には、直接、東京都に市の考え方を伝えてまいりました。

一方、市議会では、3件の陳情がいずれも平成28年3月28日に採択され、さらに議会として事業化見直しの意見書を可決し都に送付しており、これは、非常に重い議会の意思であると受け止めているところです。

なお、市では、小金井の宝である、はげの緑など小金井らしい風景の保全は、非常に大切なことだと考えています。このことから、両路線に関して市に寄せられている多数の声、陳情への議会の意思を尊重し、地元への配慮を欠いた事業着手については、両路線とも希望することはありません。



### 質問3

小池新知事は、選挙前のアンケートに対し「都民が決める。都民と進める」との基本姿勢の下に、「知事に就任させていただきましたら、実際に巡視し、小金井市、小金井市議会、地域住民の皆様とも対話し、優先整備路線に位置付けることが不適切だと判断される場合には、必要に応じて、見直しを進めていきたいと考えております。」と回答するとともに、知事就任後も色々な場で「都民の意向第一」にあらゆる問題に対処していくとの姿勢を示しています。

これは我々の望むところでもあります。市長として小池知事による「巡視」の実現に向けて積極的に働きかける意思があるかどうかをお答えください。

### 回答3

小池知事は、知事候補者の一人として、公開質問状に対する回答のほか、知事就任後の定例記者会見で、現地視察について言及されております。

また、平成28年10月5日の東京都議会第3回定例会の一般質問でも「小金井市内の都市計画道路のお問い合わせでございます。都市計画道路は、交通・物流機能の向上による経済の活性化のみならず、日々の生活を支えるとともに、災害時には救急救援活動を担う重要な都市基盤でございます。小金井市の2路線は、広域避難場所へのアクセス向上や生活道路への通過交通抑制によります地域の安全性向上などに資する重要な路線と考えております。あわせて、環境に配慮することも重要でございます。現地の地形の状況や景観を踏まえた検討が必要と考えております。この道路整備にあたりましては、様々な意見があることは、承知しております。今後、道路の果たす役割や機能、そして環境にどう配慮するかについては、市民との意見交換の場を設けて、ひとつひとつ丁寧に対応を行うように指示したところでございます。現地視察については、状況を踏まえて判断させていただきます。」と答弁されております。

このことから、現地視察を検討していただいていると認識しており、現地の状況を十分踏まえ、た上で、適切に判断していただけるものと考えております。